おじゃまします　　こんにちは！

ミュージカルかぞ

今回は今月第５回本公演を控えたミュージカルかぞの総監督、阿瀬見貴光さんと、実行委員長の齋藤大治さんにお話を伺いました。

“市民による市民のためのミュージカル劇団”2012 年７月に産声をあげ５年が経とうとしています。５歳から 70 歳代まで幅広い団員の皆さんが所属し温かいコミュニティの輪の中で、楽しくかつ真摯に舞台を学んでいます。団員は現在 46 名。笑いの絶えない稽古場で伸び伸びと表現する皆さん。これからも益々にぎやかになっていきそうです。

「『歌うこと、演じること、踊ること、そして人と人との心がつながることの喜び』を、公演を通して沢山の人に伝えていきたい」と齋藤さん。また指導者の阿瀬見さんは『一人一人が主役。一人一人が舞台で生きている。一人一人が輝いている。』この３つの信念を貫き稽古に力を注いでいるそうです。すべての団員が舞台においてひとつの方向を目指すときのイメージをピクニックに例えて話してくださいました。

「まずは仲間たちのために一人一人が少しずつ何かを持ち寄るんです。『これがあると楽しくなるぞ！』ってね。山の険しい道のりも手を取り合って登ります。てっぺんに到着したなら美しい景色に感動し、お互いに喜びあい、持ち寄った“ゴチソウ”で乾杯するんです！それは舞台上から見える崇高な景色と同じこと。」と。ミュージカルかぞは立上げから 10 年後のニューヨーク公演を目指しています。「５年後の海外公演を成功させるためにもしっかりと基礎を固めに励んでいますから、この公演で団員たちはその成果を炸裂させることでしょう！ミュージカルという文化の媒体をとおして 100 年、300 年先の加須の民に愛を伝えるのです。玉敷神社のお神楽みたいにね。」阿瀬見さんはまっすぐな目で語られました。

第５回本公演では《 Oliver！》（オリバー！）を上演します。孤児オリバーが様々な困難に巻き込まれながら幸せを掴むまでを描くミュージカル。子供たちの生き生きとした活躍にどうぞご期待！皆さんも心温まるミュージカルかぞの舞台をご覧になってみませんか。

７月 15 日（土）17：00 公開ゲネプロ	キャッスルきさい
７月 16 日（日）14：00 公開ゲネプロ	入場無料　各回 200 席
７月 16 日（日）17：00　　公演１	※事前に配布する整理券が必要です。
７月 17 日（月祝）11：30　　公演２	お問い合せ:0480-61-3020
７月 17 日（月祝）15：00　　公演３	musicalkazo2012@gmail.com
《各回 30 分前開場》	ミュージカルかぞ事務局 ：折原

くらくら館

恒例の行事　７月

唄おう会
加須市観光大使の秀丸姐さんや町子姐さんの三味線の演奏にふれてみませんか。
（参加費 100 円）

蔵シネマ
『男はつらいよ
～寅次郎の旅路～』
ウィーンと湯布院を聞き間違え渡欧した寅次郎、現地で会ったガイドの久美子（竹下景子）と恋に…（入場無料）